



配布先：京都大学記者クラブ

解禁時間（テレビ、ラジオ、WEB）：平成 31 年 3 月 5 日（火）即日  
（新聞）：平成 31 年 3 月 5 日（火）即日

平成 31 年 3 月 5 日

## 国宝・石清水八幡宮の本殿釣灯籠とエジソン記念碑の点灯式を開催 鎮守の森コミュニティ構想と国連 SDGs 文化推進目標に基づく地域創生の取り組みとして 自然エネルギーと LED により神社を照らし地域コミュニティを活性化する活動を開始

京都大学こころの未来研究センター<sup>\*1</sup>の広井良典教授および石清水八幡宮<sup>\*2</sup>の田中朋清権宮司（石清水なつかしい未来創造事業団理事長、国際連合 SDGs 本部推進会議 SDGs 文化推進委員長）は、京都大学と日立製作所の共同研究部門である日立京大ラボ<sup>\*3</sup>およびダイナックス都市環境研究所<sup>\*4</sup>と共に、鎮守の森コミュニティ構想と国連 SDGs 文化推進目標に基づく地域創生の取り組みを進めています。日本全国に遍くある各々概ね八万の神社と寺院は地域コミュニティを活性化するための心と文化の支柱となりえるものであり、その先駆けとして、全国に広がる神仏習合八幡宮のうち三大宮の一つである石清水八幡宮から、自然エネルギーにより神社を照らし地域を灯す活動を開始しました。今回の点灯式では、御本殿の廻廊を巡る釣灯籠と白熱電球にゆかりのあるエジソン記念碑を、太陽光エネルギーと LED によって穏やかに照らします。

### 石清水八幡宮 点灯式

日時 平成 31 年 3 月 14 日（木）午後 6 時

場所 石清水八幡宮 御本殿前

式次第

1. 開式
2. 挨拶

石清水八幡宮権宮司、国際連合 SDGs 本部推進会議 SDGs 文化推進委員長	田中朋清
京都大学こころの未来研究センター 副センター長、教授	広井良典
日立製作所研究開発グループ基礎研究センタ センタ長、日立京大ラボ長	山田真治
ダイナックス都市環境研究所 所長代理、取締役、主席研究員	橋本慎吾

3. 点灯
4. 閉式

鎮守の森コミュニティ構想とは、現代日本の社会課題がコミュニティにおける人と人あるいは人と自然とのつながりの希薄化にあると捉え、古来から存在してきた「鎮守の森」を自然そして文化が一体になった場所として再発見し、それを自然エネルギーの分散的整備等と融合することを通じてローカルなコミュニティの創生と活性化を目指すものであり、京都大学こころの未来研究センターと鎮守の森コミュニティ研究所<sup>\*5</sup>の広井教授が中心となって活動を行っています。京都大学と日立京大ラボが共同で実施した AI を活用した政策提言<sup>\*6</sup>では、日本を持続可能なシナリオに導くためには 7~9 年後までに都市集中から地方分散への大きな舵取りが必要であることが明らかとなり、ますます地域コミュニティの活性化が重要になっています。全国の神社や寺院にある鎮守の森を自然エネルギーとコミュニティを結びつける拠点として展開していくための象徴的試みの一つとして、今回の石清水八幡宮における取り組みを行っています。

国際連合 SDGs 本部推進会議 SDGs 文化推進委員会<sup>\*7</sup>は、2018 年 5 月に開催されたニューヨーク国際連合 SDGs 本部推進会議において正式に発足し、石清水八幡宮の田中権宮司が SDGs 文化推進委員長に就任しました。SDGs 達成に向けて重要な鍵である、文化における相互理解とグローバルシチズンシップとしての倫理の醸成を目的とし、地球環境や経済活動を持続可能にするために文化的視点から活動しています。その手始めとして、石清水八幡宮を中心とする京都府八幡市の活性化を目指して、まず御本殿の釣灯笼とエジソン記念碑を自然エネルギーにより照らし、地域住民と「はちまんさん」をつなげる取り組みを始めました。エジソン記念碑は、発明王エジソンが八幡地域の竹を使って白熱電球の長時間点灯を成功させたご縁により建立されたものであり、この記念碑を自然エネルギーによって照らすことは未来に向けて意義深いものであると言えます。

日立京大ラボ(日立未来課題探索共同研究部門)は、「ヒトと文化の理解に基づく基礎と学理の探究」を推進するため、京都大学と日立製作所により 2016 年 6 月に大学構内に設立されました。上記の AI を活用した政策提言と並行して、Society 5.0 に向けた応用哲学・倫理学の研究<sup>\*8</sup>、自然エネルギーによる地域経済循環の実証研究などを進めています。前者では、Society 5.0 の実現に向け IT システムの社会実装に伴う哲学的・倫理的な諸問題を念頭に置きながら、社会の規範や文化を支えるテクノロジーのあり方を検討しています。後者では、自然エネルギーや地産地消サプライチェーンによる地域経済循環の活性化と、地域の規範や文化に根差したコミュニティの活性化を目指す自立的な地域社会の実証研究を進めています。これらの研究の出口として、今回の石清水八幡宮における取り組みは、地域の精神的・文化的な面から地域創生を進めていくための重要な一歩になると考えています。

ダイナックス都市環境研究所は、環境問題を中心に都市や地域社会が抱える様々な問題に幅広く取り組むシンクタンクを目指して活動しています。その一環として、活力ある地域社会づくり、循環型社会へのアプローチ、住民合意形成のコーディネートなどを行っています。今回の取り組みでは、京

都大学、石清水八幡宮、日立京大ラボとともに、御本殿釣灯籠およびエジソン記念碑のゆかりを尊重しながら、太陽光パネルおよびLEDの設計および設置を担当しました。自然エネルギーの活用は循環型社会の重要な要素であり、エネルギーの地産地消は持続可能な地域経済に貢献することが期待されています。これからも自然エネルギーの活用による循環型の地域社会づくりと、鎮守の森に代表される自然と共生するまちづくりへの取り組みを広げていきたいと考えています。

今回の取り組みは、石清水八幡宮における釣灯籠とエジソン記念碑の点灯という小さな一歩に過ぎませんが、今後、一般財団法人「石清水なつかしい未来事業団」\*9の活動を通じて、自然エネルギーを活用しながら表参道から東高野街道へ地域の灯りを上げるとともに、石清水の由来である井戸や空中茶室の閑雲軒の再生なども企画しています。さらに、神仏習合の石清水八幡宮を起点として全国の神社や寺院へ自然エネルギーにより地域を灯す活動を広げていくことで、住民と自然と文化のつながりを取り戻し、地域コミュニティの創生と活性化を進めていきます。

- \*1 京都大学こころの未来研究センター <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>
- \*2 石清水八幡宮 <http://www.iwashimizu.or.jp/top.php>
- \*3 京都大学と日立が「日立京大ラボ」を開設  
<https://www.hitachi.co.jp/rd/news/2016/0623.html>
- \*4 ダイナックス都市環境研究所 <http://www.dynax-eco.com/>
- \*5 鎮守の森コミュニティ研究所 <http://c-chinju.org/>
- \*6 日立「AIの活用により、持続可能な日本の未来に向けた政策を提言」  
<https://www.hitachi.co.jp/rd/news/2017/0905.html>
- \*7 国連SDGs文化推進委員会発足 <http://www.founap.org/181012-bunka.html>
- \*8 京都大学「Society 5.0に向けた応用哲学・倫理学の産学共同研究を開始」  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events\\_news/department/bungaku/news/2018/180403\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/bungaku/news/2018/180403_1.html)
- \*9 石清水なつかしい未来創造事業団 <http://nostalgic-future.com/index.html>

## ■ お問い合わせ先

京都大学こころの未来研究センター（広井研究室）

Tel/Fax : 075-753-9672

E-mail: [hiroiyoshinori.5u@kyoto-u.ac.jp](mailto:hiroiyoshinori.5u@kyoto-u.ac.jp)

石清水なつかしい未来創造事業団

Tel : 075-981-3001

ご参考

